



2023年5月26日

各位

会社名 アゼアス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 齊藤文明  
(コード番号: 3161 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 羽場恒彦  
(TEL. 03-3865-1311)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

2022年6月10日に公表いたしました、2023年4月期通期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### ●業績予想の修正について

2023年4月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年5月1日～2023年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,414	百万円 569	百万円 600	百万円 423	円 銭 74.94
今回発表予想 (B)	9,081	531	562	406	71.96
増減額 (B-A)	△1,333	△37	△37	△16	
増減率 (%)	△12.8	△6.6	△6.3	△3.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年4月期)	9,545	387	414	266	47.21

2023年4月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年5月1日～2023年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 8,240	百万円 497	百万円 522	百万円 365	円 銭 64.72
今回発表予想 (B)	7,383	456	489	362	64.12
増減額 (B-A)	△856	△40	△33	△3	
増減率 (%)	△10.4	△8.2	△6.4	△0.9	
(ご参考) 前期実績 (2022年4月期)	7,503	360	469	326	57.85

## 修正の理由

### (1) 連結業績予想の修正理由

防護服・環境資機材事業におきましては、過去最多を更新した鳥インフルエンザに対して、防疫作業で使用される個人用保護具の円滑な供給を継続し、第3四半期以降は同期間の計画を上回る水準で推移、同事業の業績が伸長いたしました。また、新型コロナウイルス感染症対応後の反動減により個人用保護具の販売が計画未達となった第2四半期までの売上高減少をカバーするまでには至らない見込みです。また、2023年4月より新たな事業セグメントとして独立したヘルスケア製品事業におきましては、アゼアスデザインセンター秋田で日本製マスクの生産を開始しましたが、中国のロックダウンに伴う資材調達停滞を起因とした一時的な生産減少や、円安による輸入原材料費の上昇、改善途上にある歩留まり率などが要因となって、当初の計画に対しては生産数、利益率とも未達となり、同事業は営業損失を計上する見込みです。

以上の結果、売上高は前回発表予想額より1,333百万円減少の9,081百万円、営業利益は37百万円減少の531百万円、経常利益は37百万円減少の562百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16百万円減少の406百万円に各々修正いたします。

### (2) 個別業績予想の修正理由

修正理由につきましては、(1)の連結業績予想の修正理由と同様の理由です。

(注) 上記に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

以 上